

山名	富士山（創立40周年記念事業）	山行名	7月例会			
ルート	北口富士浅間神社→馬返し→五合目→七合目泊→久須志神社→剣が峰（山頂）→五合目佐藤小屋→スバルライン五合目→シャトルバス下山					
山行日	2019年7月13日（土） ～2019年7月15日（祝）	天候	雨のち曇り			
参加者	CL：中田繁男 男性：小川弘二、平尾繁和、土岐吉正 SL：伊藤典子（途中棄権） 女性：北條都 合計：6名					
ルート概略図 	コースタイム					
	地名		時：分	地名		時：分
	2日目 富士浅間神社	集	5：30	3日目 東洋館	着	
		発	5：40		発	3：45
	馬返し	着	8：30	頂上小屋 富士館	着	7：49
		発	9：10		発	8：00
	五合目佐藤 小屋	着	11：40	お鉢巡り 剣が峰	着	8：20
		発			発	8：28
	六合目安全 センター	着	12：30	五合目 佐藤小屋	着	11：57
		発	13：05		発	12：06
七合目 東洋館（泊）	着	15：10	スバルライ ン五合目	着	12：40	
	発			発	13：00	
山行報告						
<p>創立40周年記念事業として企画しましたが、参加者6名と少なくレンタカー1台で実施しました。梅雨の最中で天候が心配でしたがその通りで3日間とも雨模様の最悪の中無事に、富士山最高峰の剣が峰に到達できました。2日目の浅間神社から馬返しまでの行程中にSLが体調崩し、急遽小川さんが付き添い五合目までバスで行くことになりました。残り4名はそのまま予定コースを行くことにしたのですが、CLの私が途中からバテ始め先頭を土岐さんをお願いするはめになる等ハプニングが続きました。スバルライン五合目からのツアー客と遭遇して賑やかです。軽装備の外人客が草履、短パン、ポンチョ等で雨風の寒い中を歩く無謀な状態。相変わらずバテバテの私は最後尾を遅れて登り坂・岩壁を登っていくと、インド人男性に「ガンッ」声掛けられる始末。情けない！ひたすら上り坂を富士浅間神社（標高850m）から七合目の東洋館（標高3,000m）標高差（2,150m）を登りきり到着した。SLが五合目で待機したので5名の泊りです。3日目午前0時にツアー客が小雨のなか出発を見送り我々は3時起床して3時45分再出発！小川さんに先頭をお願いして私は又最後尾を遅れながら空気が薄いせいか息が荒い。やっそこさ頂上の久須志神社に着いた。雨風で寒い（1℃）防寒着を着てお鉢巡りに出発した。火口付近（お鉢巡り）は霧雨のガスがかかって殆ど何も見えない。三角点がある最高峰の剣が峰に到着した。やや小高い山になっています。吉田ルート下山道をひたすら下り五合目佐藤小屋にいるSLと合流できました。今回は記念事業として0合目にこだわり出発点にしたのですが、流石に一日で標高差（2,000m）以上を登るのは冒険でした。幸い参加メンバーに恵まれ最後まで登りきることが出来てお疲れ様でした。ありがとうございました。</p>						
ヒヤリハット なし						

40周年記念富士登山感想文

小川 弘二

出発の2日前の夜から歯が痛みだし、歯医者に行ったところ、抜かなくてはダメだが山から帰ってからはしめようと言われ、痛み止めを3日間出して貰った。幸い、痛み止めが効いたのか多少の痛みは感じたがガマンできない痛みはでなかった。

1日目は足和田山に登り、下から富士山を仰ぐ予定でしたが、高速道路で事故が有り到着が遅れ、中止して宿に向う。その宿は中国人の経営者と従業員とのことで、宿泊客は殆ど外国人。ここで第一のアクシデント発生。風呂は5時からと言うことで一足お先にシャワーを浴びに行ったがメガネを忘れてしまい、後程探しに行ったが見つからない。翌日、フロントにも忘れ物が届いていないか確認したが出てこなかった。

2日目は5時出発で0合目となる浅間神社に向う。30分程で到着し、吉田口の1合目に向うが馬返し（3時間弱の歩行）の手前でSLの調子が悪くなり、これ以上前に進めない状態となる。幸い馬返しまでは車で来ることが出来るので急遽の策として浅間神社の駐車場まで車を取りに帰り私とSLだけ車で富士スバルライン5合目まで向かうこととした。しかしスバルラインの入口で警察官に止められ7/10からマイカー規制でマイカーは通行不可とのことで急遽、シャトルバスに乗り替え5合目に向う。5合目に着いてもSLの調子は良くなり、インフォメーションセンターの救護担当の人に相談し、近くの山小屋をとって貰う。その7合目の山小屋に向かうが途中で登山靴のソールと口を開けてしまったので、急遽テープで固定したが2時間も経たない内にテープ切れ、再度テープを巻き直してやっと7合目（3100m）に到着。更に今日泊まる東洋館を目指していくが中々着かない。次々と山小屋が表れが東洋館ではない。7軒目でやっとたどり着直登組が宿に入るところだった。東洋館は8（3100m）よりたった100m下。



後、私は底がパ
プで固
が擦り
（2700
て登っ
てくる
いたら
合目

3日目はミズレ混じりの雨の中を3時45分に出発し、山頂に向かうが途中でストックの柄とパイプが外れてしまい、またまたテープのお世話となる。山頂に着いたのが7時10分頃でその後、お鉢巡りに向う。浅間神社奥宮では70歳以上の登山者は記帳して下さいと書かれていたので記帳してきた。その日は私で7人目だった。その後、最高峰の剣ヶ峰に登頂し、帰りは佐藤小屋にSLを迎えに行きスバルラインの5合目に無事下山したのが12時35分。

今回の山行は3日間雨ばかりで富士山には一度もお目に掛からず残念であると共にアクシデントの多い山行であった。又、外国人（特に中国人）の多さがここでも感じさせられた。何はともあれ、全員無事に下山できて良かった。

伊藤 典子

私は果たして富士山に登ったと言えるのだろうか？

弱い雨の中、浅間神社駐車場に車を置き、富士山0合目からスタートした。ゆるい傾斜で殆ど平地と変わらないような山道を軽快に登り始めた。土壌が火山灰のため雨が降っても水たまりがなくサラサラした粗い砂地のように思いのほか歩きやすかった。1時間、2時間が経過してもまだ0合目?! 徐々に歩行が遅れてきた。疲れを感じる。休憩を頻繁に要求してしまう。眠くなって（またもや睡眠不足）体がふらつく。荷物を分散して持ってもらった。頑張れと励ましてもらっても気弱になる。つ

いに 1430m の馬返しでダウン!! 3時間近く経過していた。馬返しまで車で来れるので、小川さんが浅間神社の駐車場まで引き返して車で迎えに来てくれるのを横になって待った。他のメンバーは予定通り7合目の小屋を目指し出発した。私たちは5合目まで車で行き6合目で合流することにした。昼過ぎにシャトルバスで富士スバルライン5合目に着いたが、高山病の症状がひどく私は登頂を断念し、5合目の山小屋に留まることにした。小川さんからその後無事に4人と合流したと連絡を貰ってホッとした。良かった!! 私は5合目の小屋でゆっくり休み何とか回復したので、翌朝4時前に起きてせめてご来光を見ようと6合目目指して登ったが激しい雨に降られ不安になってあと少しの所で引き返してきた。折角乾いた雨合羽がまたびしょ濡れになった。霧雨の中再度6合目を目指したが雨が強まってきて途中で引き返した。降り続く雨に出足をくじかれ、宿のテレビばかり見て過ごした。11時半ごろ20分後に着くと連絡があつて、待ちに待った5人の姿を見たときパッと周りが明るくなった。♪嬉しくて嬉しくて言葉に出来ない♪とはこのこと。皆さんは完登出来てホントに良かった!それが救いである。

結局3日間ずっと富士山の姿すら見る事が出来なかった。私は富士山を登りました!とは決して言えないと思う。できればリベンジしたいけど……。

SLとしての務めも全く果たせず、むしろご迷惑ばかり掛けてしまい情けない限りですが、これも貴重な体験だったと思いたいです。全ての企画計画をしてくださったCLの中田様、ご一緒してくださった皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

梅雨の真っ只中の富士登山

土岐 吉正

わずかながら天気回復を心の中で祈りながら曇り空のなか京田辺を出発。

高速を乗り5時間のドライブ、行きの運転はお任せして睡眠タイム

静岡に近づくにつれ雲行があやしくなり雨が降り始め、富士山も見えず残念。

予定していた足和田山も登るのは中止。夜ご飯を買い出し、宿泊施設へ、やることもなく

21時就寝、浅間神社に車を置き、予定通り850mから富士山へ向かい登山開始。

雨は幸い小降りに、ただ平地を歩行。トレイルランニングをしているひとがちらほらと見かける程度。

富士山の麓まで行くとよく人を見かけるようになった。さあここからが本番いざ3000m

へ……しかし、普段の3倍の高さになるとさすがに時間ばかりたち一合が長い。雲か霞か分からない景色で何も見えないし、上へ登っている感じがしない。5合目くらいになるとこの雨の中でも人が沢山見かけるようになった。特に外国人が……

ここからは急斜面になっているところが多く、ゆっくりと時間をかけながら登り、天気も晴れ間がちらほらと……明日は期待できるかも……

宿泊施設があと少しあと少しといいながらなかなか着かない。心が折れそうになりながらようやく到着。宿泊施設は最近できたばかりで非常にきれいで夕食も良かったと思います。夕食後暫くしてから外に出てみると雲海がひろがり星が見えていたので、またまた再度明日は晴れるのを期待……けれどもまたまたやることもなく19時就寝。翌朝3時に起床。残念なことに外はどしゃ降り七合目から4時に出発。流石に山頂に近づくにつれて空気が薄いのと寒さを感じる。しかしそれを感じながら登るのもいい体験。

山頂・お鉢巡り・剣が峰に行ったのはいいが残念なことに景色は真っ白で何も見えず、予定通りだが……そしていざ5合目へ下山するのはいいが単純な山道・何も見えない景色。ただただ長い道のり、富士山はやはり遠くから見るのがいいかも。5合目に到着、シャトルバスに乗り車を置いた駐車場に行った。銭湯に向かうが結局一度も富士山を見ず残念。

しかし、天候は悪かったけれどもそれなりに楽しかったですよ。中田さんご苦労さんでした。またリベンジしましょう。他の皆さんもお疲れ様でした。

平尾 繁和

学生時代に先輩に誘われ軽装で5合目から登頂して以来、富士山は観る山・撮る山と決め込み、石割山、王岳、高指山、三国山、金時山など周辺の山に登ったり、山麓の青木ヶ原樹海や鳴沢風穴、氷穴、蝙蝠穴を訪ねたり大室山原始林でブナに親しみ、もう登ることはないと考えてきました。ところが、今回40周年記念山行ということと「0合目から10合目まで踏破！！をめざす」という案内に心が動きすぐに申し込んでしまいました。あいにく雨具をつけての北口本宮富士浅間神社からのスタートでしたが、富士吉田遊歩道のアカマツ林からフジザクラ群生地をとおり途中にはフタリシズカやシロバナヘビイチゴの花などが咲いていました。馬返しから登山道に合流、登る人はほとんどなくトレランの練習の人たちが次々と登っていただけでした。かつての茶屋（休憩所）跡をいくつかとおおりミズナラ、カツラ、トウヒ、コメツガなどの樹木が霧の中に浮かびいい雰囲気でした。3合目あたりの林道終点出会で雨具を脱ぎ、5合目手前からは青空も顔を見せました。6合目からは7合目の山小屋東洋館をめざし多くの登山者にまじり歩みを続けました。荒れた火山の砂礫のあいだにフジハタザオやイワツメグサの白い小さな花、オンタデのクリーム色の花、また7合目手前ではミヤマハンノキが風雪に耐え枝を広げているのには感動しました。最終日、いよいよ最高峰をめざす。昨夜見えた星にかけた淡い期待もむなしく天気予報どおり雨の中を歩き始め溶岩の岩場をひらすら登っていきましました。雨風も激しくなり途中の山小屋では団体客が撤退を決め下山していくなか、私は「六根清浄 六根清浄」の行者の心境でした。こまめな水分補給で高山病対策、3,000mを越えると酸素が薄いのがわかり段差を一步上がるたびに呼吸が乱れ、「スー」と細く息を吐きだし呼吸を整えながら足を運びました。雨風は冷たく一步間違うと低体温症かなと思ひながら気合を入れ、山頂に着いた時はほっとしました。ガスに覆われお鉢は望めなかったものの、およそ半世紀ぶりの富士登山で富士山のとてつもない大きさを身体で実感しました。「富士山は技術的にはやさしい。だが身体にかかるストレスは日本一厳しい。この山をトラブルなしで快適に登ることができれば、山での身体の扱い方がマスターできたといってもよいだろう」（「登山の運動生理学とトレーニング学」山本正嘉）。日本で唯一の高所（3,500m以上）の要素を持つ山を0合目（870m）から3,776m剣ヶ峰まで高度差3,000m、しかも3日目は雨のなか低酸素、寒さ、風を克服して無事登頂できたことはみなさん素晴らしいことだと思います。忘れられない山行となりました。参加のみなさんありがとうございました。企画してもらった中田さん感謝です。芭蕉の句を紹介して感想文を締めくくります。

「霧時雨富士を見ぬ日ぞ面白き」（野ざらし紀行）

参考までに、ヤママップ記録

2日目：9時間17分、15.2km、標高差2,072m

3日目：8時間21分、11.7km、標高差1,548m

累積標高（合わせて） 上り3,796m/下り2,390m



吉田遊歩道



シロバナヘビイチゴ



オンタデ



7合目山小屋めざし

北條 都

一度は登ってみたいと思っていた富士山登山。雨の中の登山で、稜線は少し見られたけど、結局富士山の姿を見ることはできませんでした。

0合目の富士浅間神社から7合目の東洋館まで一気に2,150メートルを登ったとあとから聞きました。

よく登ったものです。宿泊先の7合目の東洋館までなんと遠かったことか。

夏休みの前と雨模様ということで、テレビで見る渋滞にはなっていない、ゆったりと登れ、山小屋も案外空いていました。

布団の代わりにシュラフとマットが用意されており、トイレなどもとても綺麗でした。外国人の利用も多くなっているからか朝食のお弁当がパンケーキで、途中で食べようと思っても、喉が乾いているせいかゴックンができなくて往生しました。やっぱり日本人にはおむすびがいいと思いました。

翌日のお鉢めぐりと富士山頂上剣ヶ峰にも、私のペースに合わせて貰ったみんなのおかげで登ることができました。

自分だけしんどかったのかと思っていましたが、後で聞くと他の人も結構きつかったそうでちょっとほっとしました。

CL 中田さん、SL 伊藤さんはじめ同行のみなさんありがとうございました。



浅間神社



頂上直下



5合目手前



7合目の宿目指して



頂上浅間神社奥宮



東洋館前から



中田さんを先頭に



剣が峰集合写真